

News release

スイス・リー、好調な引受実績と投資収益が支えとなり、2017年上半期の純利益は12億米ドル

- グループの2017年上半期純利益は規律ある引受と好調な投資収益に支えられ12億米ドル
- 損害再保険事業は大規模な自然災害による保険金請求の影響を受け、純利益は5億4600万米ドル
- 生命・医療再保険事業の純利益は4億3200万米ドルで、引き続き好調な業績を計上
- コーポレート・ソリューションズの純利益は3900万米ドル; ブラジルでブラデスコ・セグーロス社との合弁事業を開始
- ライフ・キャピタルは総キャッシュフロー5億3200万米ドルで、オープン・ブック業務が引き続き魅力的な伸び
- 高品質な投資ポートフォリオの投資収益率が3.5%と好調
- 規律ある引受アプローチが功を奏し、更改された損害再保険事業ポートフォリオのリスク調整済みの適性料率は年初来102%と安定

チューリッヒ、2017年8月4日 – スイス・リー・グループ(以下、スイス・リーまたはグループ)は、2017年上半期の純利益が12億米ドルとなったことを発表しました。この結果を支えたのは規律ある引受と好調な投資収益で、スイス・リーが厳しさの続くビジネス環境と市場環境にうまく対処したことを示しています。全体的な業績は、オーストラリアにおけるサイクロン「デビー」の被害により発生した3億6000万米ドル(再々保険控除後、税引前)の保険金請求の影響を受けました。非常に強い資本基盤を背景に、スイス・リーは資本管理の優先事項に引き続き重点を置きながらも、市場機会に応じていくための盤石な態勢を整えています。

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「厳しい市場環境の中、また自然災害により大規模な保険金支払があったにもかかわらず、2017年上半期の当社の業績は好調でした。短期的には、特に料率上げ圧力といった懸念等への対応に注力していますが、我々は長期的な価値創造を念頭に経営を行っています。」

厳しい市場環境にもかかわらず上半期の業績は好調

スイス・リーは2017年上半期、堅固な引受実績と好調な投資収益を背景に、純利益が12億米ドルとなったことを発表しました。前年比で減益となった主な理由として、2016年にライフ・キャピタルの投資ポートフォリオ内で

Media Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 7171


New York
Telephone +1 914 828 6511

Hong Kong
Telephone +852 2582 3660

Investor Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
 @SwissRe

発生した大規模な1回限りの実現利益が、想定されたとおり2017年度には再現されなかったことなどが挙げられます。

2017年上半期のグループの株主資本利益率(ROE)は年率換算で7.0%となり、1株当たり利益(EPS)は3.75スイスフラン(3.76米ドル)となりました。前年同期は5.51スイスフラン(5.61米ドル)でした。また、投資ポートフォリオが引き続き堅調かつ持続可能なリターンを生み、グループの投資収益率(ROI)は年率3.5%となりました。このROIは、正味投資利益および、主に株式の売却による正味実現利益にけん引されました。確定利付債券投資の直接利回りは2.9%で、2016年通期の直接利回りと変わりませんでした。

総収入保険料は、規律ある引受業務および積極的なポートフォリオ運用を背景に、8.3%減の181億米ドルとなりました。

2017年6月30日現在、普通株主資本は344億米ドルと概ね安定した状態です。2017年6月末時点での普通株1株当たりの簿価は102.57スイスフランまたは107.10米ドル(2016年12月末時点では107.64スイスフランまたは105.93米ドル)でした。

2017年のグループSST比率、262%が示すとおり、スイス・リーの資本基盤は非常に強い状態が続いています。スイス・リーはいかなる逆風をものぐことのできる十分な態勢を整えていると考えており、引き続き資本管理を最優先に見据え、市場機会に対応していきます。

グループの最高財務責任者であるデビッド・コールは次のように述べています。「当社の損害再保険事業は、業界全体および市場を取り巻く環境により料率上げの圧力を受けている状況が続いている一方で、生命・医療再保険事業は安定しており、むしろ業績は向上しています。これは、多様なビジネスモデルを持つことが、特定の領域のボラティリティーの調整に役立つ、という重要性を示しています。さらに、当社とお客様の強固な関係と相まって、長期的な価値創造を支える当社の差別化要因の一つとなっています。」

厳しい事業環境にもかかわらず損害再保険事業の業績も好調

2017年上半期の純利益は、好調な引受実績に支えられ5億4600万米ドルとなりました。過年度の純利益は為替レートの有利な動きの恩恵を受けましたが、2017年にこの状況は再現されませんでした。この業績には、オーストラリアにおけるサイクロン「デビー」に起因する保険金支払3億2000万米ドル(再々保険控除後、税引前)も含まれます。

上半期の年率換算後の株主資本利益率は9.1%となった他、コンバインド・レシオも97.4%と安定的に推移し、いずれも過年度の良好な展開の恩恵を受けました。

総収入保険料は、2017年上半期に15.5%減少して94億米ドルとなりました。これは、スイス・リーの収益期待を満たさない料率に対し、厳正な引受規律によりキャパシティを引き下げた結果です。

7月の損害再保険特約の更改に見る規律ある引受戦略

アメリカを中心とする7月の損害再保険特約の更改後、スイス・リーは魅力的なポートフォリオを維持しました。スイス・リーでは引き続き資金をグループの収益性基準に合致する機会に限定して配分しているため、7月の更改で特約保険料収入は10%減少し、年初来の保険料収入も13%減少しました。更改されたポートフォリオのリスク調整後の適正料率は、年初来で102%と安定しています。損害再保険の料率の下落は、引き続き減速しています。カジュアルティ保険の料率は他と比べて概ね安定しているものの、市場および商品によって大きな開きもあります。

生命・医療再保険事業は安定的な引受実績で、株主資本利益率も12.7%と好調

生命・医療再保険事業の引受実績は安定しており、2017年上半期は4億3200万米ドルの純利益を計上しました。この結果には実現利益増加の恩恵も反映されており、年率換算後の株主資本利益率は12.7%と好調な結果となりました。

総収入保険料は2.8%減の64億米ドルとなりましたが、これは主にグループ内の再々保険契約の変動と為替動向によるものでした。新規事業も、更改が好調だったこととアメリカおよびアジアにおける成功を背景に成長が続きました。

高成長市場においては、生命元受保険の強い伸びが期待される他、医療保険の契約件数と安定的な出再率も見込まれています。アジアを例にとると、スイス・リーでは生命元受保険料の伸びを実質ベースで今後10年にわたり年率6%と予想しています。生命・医療再保険事業は引き続き高成長市場と、長寿リスクへの対応を含む大型案件におけるビジネスに照準を合わせていきます。世界人口の急激な高齢化は、価格が手頃で利用しやすいソリューションを生み出し、長寿化する人生に必要な資金を確保する助けとなる新しい方法を模索するチャンスを提供しています。

コーポレート・ソリューションズの業績に自然災害による大規模な損失と継続する料率圧力が影響

同事業部門は、2017年上半期の純利益として3900万米ドルを計上しました。この業績は、前年同期と比べて拡大した自然災害の損失と継続する料率圧力の影響を受けましたが、投資活動からの収入で相殺されました。同期間のコンバインド・レシオは104.5%となり、この背景にも自然災害損失の拡大、過年度の引受実績の減少、料率圧力の継続がありました。年率換算した株主資本利益率は3.6%でした。

総収入保険料は¹4.7%減の17億米ドルとなり、大部分の事業セグメントがサイクル的な料率圧力の影響を受けました。

2017年7月、コーポレート・ソリューションズはブラジルにおいて、すでに発表していたブラデスコ・セグーロス社との合併事業を開始し、大規模リスクを補償する国内最大手の保険会社の一つとなり、既存の販売ネットワークを通じて革新的な商品を提供できるようになりました。

当該事業部門は元受主幹事引受能力への投資を継続している他、マレーシアのクアラルンプールと英国のマンチェスターに事業所を開設し、足掛かりをさらに拡大しました。

ライフ・キャピタルは力強い総キャッシュフローをもたらし、グループにまとまった配当金の支払いも実現

2017年上半期の純利益は1億4300万米ドルに減少しました。この減益の主な理由は、2016年に投資ポートフォリオ内で発生した1回限りの大規模な実現利益が、想定されたとおり2017年度には再現されなかったことなどが挙げられます。年率換算した株主資本利益率は4.0%でした。

同事業部門の2017年上半期の総キャッシュフローは5億3200万米ドルと力強く、その原動力は、他の保険会社から移転された保険契約を保全管理するReAssure事業の収益と、その年度末法定責任準備金の評価確定によって得られたものでした。強い資本基盤を背景に、ライフ・キャピタル事業部門は第2四半期にスイス・リー・グループに対して11億米ドルにのぼる大きな配当金の支払いを実施することができました。

2017年上半期の総収入保険料は5.2%増の9億3200万米ドルとなり、これは団体と個人の両方の生命・医療保険オープンポリシー事業の伸びが要因でした。

ライフ・キャピタルは引き続き英国のクローズドブック市場の中から厳選して買収機会を追求していく一方、欧州と米国においては個人と団体を対象とした生命・医療保険事業を伸ばしていきます。そして、多額のキャッシュフロー生成を目指しつつ、オープンブック戦略への投資も継続していきます。

スイス・リー投資戦略に明確な持続可能性基準の導入を進める

7月、スイス・リーは業界における先駆者の1社として、環境・社会・ガバナンス(ESG)基準を投資判断に体系的に組み入れるベンチマークの導入を発表しました。これは、ESGを「アドオン(外付け)」アプローチとして捉える段階から、スイス・リーの投資プロセスの中で不可欠なものへと一歩前進させたことを意味します。スイス・リーは、ESG基準を考慮に入れることに経済的な意味があり、特に長期投資家のダウンサイドリスク軽減につながるものと確信しています。さらにスイス・リーは、サーマルコール(一般炭)の採掘から収

¹ デリバティブ形式の保険契約の保険料も含む。再保険事業部に内部フロンティングしている分は除く。

入の30%以上を得ている会社、あるいは発電にサーマルコールを30%以上使用している会社に対する投資は行いません。関連する株式ポジションや、この条件に当てはまる保有債券の大部分を売却しました。

スイス・リーの中心にあり続けるイノベーション

技術の進歩は、保険のリスクや保険商品の販売方法に影響を与えます。したがって、業界の動向の常に先を行くことは、スイス・リーにとって重要な優先事項であることに変わりありません。コーポレート・ソリューションズは7月、香港における事業者を対象とした初の台風警報保険「Insur8」の発売を開始しました。この新商品は、香港気象台よりシグナル8以上の台風警報が発表されたことで営業停止を余儀なくされた場合や追加の営業費用がかかった場合に発生する逸失利益を対象として、現地事業者の被害を補償するものです。

今年上半期はさらに、「パンデミック緊急ファシリティ(PEF)」を支える世界銀行債の発行もありました。これはパンデミックのリスクに直面している発展途上国に対する一次対応として、資金を即座に提供する経路となる先駆的な手段です。スイス・リー・キャピタル・マーケッツ・リミテッドが共同で開発を行い、巨大災害債券(キャット・ボンド)の単独ブックランナーとなります。これにより初めてパンデミックリスクが資本市場に移転され、低所得国がカバーされたこととなります。

グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「当社では、市場環境は厳しい状態が続いているとの認識を持っています。同時に、業界の課題に正面から取り組む決定的な措置を講じています。将来の収益性確保も視野に入れ、今後も引き受けるリスクの選定に当たっては入念な選択を継続していきます。また、私たちの知識と主導的地位を活用し、お客様との連携も深めていく決意を新たにしております。リスクプールが今後も大きくなり続けるのに伴い、この業界の長期的傾向の見通しは明るいとは私は確信しています。」

年初来業績の詳細(2016 年上半期 vs 2017 年上半期)

		2016 年上 半期	2017 年 上半期
グループ連結 (総額)²	総収入保険料(百万米ドル)	19 798	18 145
	純利益(百万米ドル)	1 866	1 211
	株主資本利益率	10.9	7.0
	1 株当たり利益(米ドル)	5.61	3.76
	投資収益率(年率%)	3.7	3.5
	直接利回り(年率%)	3.0	2.9
	普通株主資本 (百万米ドル)	34 532	34 373
	SST 比率(%) ³	261	262
損害再保険	総収入保険料(百万米ドル)	11 124	9 404
	純利益(百万米ドル)	870	546
	コンバインド・レシオ(%)	97.2	97.4
	純営業利益率(%)	13.6	10.0
	投資収益率(年率%)	3.5	3.0
	株主資本利益率(年率%)	13.7	9.1
生命・医療再保険	総収入保険料(百万米ドル)	6 586	6 399
	純利益(百万米ドル)	417	432
	純営業利益率(%)	10.7	11.2
	投資収益率(年率%)	3.8	4.2
	直接利回り(年率%)	3.5	3.4
	株主資本利益率(年率%)	12.6	12.7
コーポレート・ソリューションズ	総収入保険料(百万米ドル)	1 813	1 745
	純利益(百万米ドル)	55	39
	コンバインド・レシオ(%)	101.6	104.5
	純営業利益率(%)	2.6	2.4
	投資収益率(年率%)	2.3	3.4
	株主資本利益率(年率%)	4.8	3.6
ライフ・キャピタル	総収入保険料(百万米ドル)	886	932
	純利益(百万米ドル)	569	143
	純営業利益率(%)	41.4	13.9
	投資収益率(年率%)	4.4	3.4
	株主資本利益率(年率%)	18.1	4.0
	総キャッシュフロー(百万米ドル)	116	532

² プリンシパル・インベストメントを含むグループ項目も反映しています。

³ スイス・ソルベンシー・テスト(SST)比率は 2016 年および 2017 年の年率換算値です。2017 年 1 月 1 日付で FINMA が施行した SST 算出方法の変更により、2016 年に報告された 223%には、当該変更を反映する調整が行われています。改定後の基準による 2016 年の SST 比率は 261%となります。

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界約70カ所で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト(www.swissre.com)をご覧ください。または Twitter で([@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe))をフォローしていただきますようお願い致します。